男女の性差と性差別。

それらは無くせない。

それらへの
社会的な緩和や補償。

IWAO OTSUKA

目次

男女の性差と性差別。

それらは無くせない。

それらへの
社会的な緩和や補償。

IWAO OTSUKA

男女の性差と性差別。それらは無くせない。それらへの社会的な緩和や補償。
Iwao Otsuka

男女の性差は無くせない。性差別は無くせない。性差別への補償が必要である。

男女の性差の解消。性差別の解消。それは、人間において、有性生殖が続く限り、不可能であり、不合理である。それは、人間における有性生殖を否定し、不可能にする。それは、単性生殖や、クローン人間の誕生を必須とする。それは、結果として、人類の衰退を生み出す。

性差別は、男性差別と女性差別がある。

世界には、男性優位社会と女性優位社会がある。それらの発生は、自然環境の多様性と、人間の環境適応能力の性差に基づく。
移動生活は、男性に適しており、その社会は、男性優位である。
定住生活は、女性に適しており、その社会は、女性優位である。
男性優位社会では、女性が虐げられる。その社会では、女性差別の度合いが高い。
女性優位社会では、男性が虐げられる。その社会では、男性差別の度合いが高い。

男性差別は、以下の通りである。

（１）彼自身の意に沿わないリスクテイキング。女性を守るために、そうした行為を強制されること。女性のエスコートを絶えず強制されること。戦場で兵士として戦うことを強制され、自身の命を落とす危険にさらされること。彼自身の意に沿わないチャレンジをさせられること。
（２）男性が女性から経済的な性的搾取を受けること。男性が、女性に高額な経済的配当を絶えず供給するため、企業で彼自身の意に沿わない強制労働をさせられること。女性優位社会。妻が夫にお小遣いを与える制度。夫が、その制度を妻から一方的に強制されること。夫が妻によって経済的に支配されること。
（３）女性優位社会の家庭の場合。妻によって、自身の子供から、遠ざけられ、疎外されること。妻に親権を独占されること。母親によって精神的に一生支配され続けること。
（４）女性優位社会の生活の場合。女性的な価値観の受容を強制されること。男性的な価値観で行動することを禁止されること。個人行動の自由の欠如。上位者への同調行動や忖度行動の絶えざる強制。定住集団内部における非調和行動の禁止。プライバシーの欠如や侵害や検閲の絶えざる持続。前例破りのチャレンジ禁止。

女性差別は、以下の通りである。

（１）男性に比較して。企業への進出の遅れ。企業での昇進の遅れ。企業での労働賃金の低さ。女性が企業で働いて、自ら収入を得ることが、社会的に想定されていないこと。女性の企業労働は、女性に家庭での経済的決定権や支配権があり、男性の収入が十分多い場合は、不要である。女性優位社会の女性は、家庭での経済的決定権や支配権を強力に保持しており、経済的余裕があれば、本来、企業労働は不要である。

（２）女性が、企業で働き、稼ぐ必要がある場合。高学歴や高いキャリアを望んでいるのに、学歴やキャリアを低く抑制されること。
（３）男性優位社会主導の民主主義的政治参加において、選挙権が無いこと。女性優位社会では、民主主義や選挙は、誰からも理解も体得もされないので、あまり必要ない。
（４）男性優位社会の家庭の場合。夫によって、自身の子供から、遠ざけられ、疎外されること。夫から小遣いを貰う立場に甘んじることを強制されること。それは、女性の意に沿わない企業進出の原動力となる。父親によって精神的に一生支配され続けること。
（５）意に沿わない身体的な性的搾取。彼女が嫌いな男性からの性的ストーキング。彼女が嫌いな男性からの痴漢。彼女が嫌いな男性からの強姦。彼女が嫌いな男性との結婚の強制。彼女が嫌いな男性の子供の妊娠と出産と育児を強制されること。女性優位社会では、子供の結婚相手は、家庭を支配する古参の女性が決定する。
（６）男性優位社会の生活の場合。男性的な価値観の受容を強制されること。女性的な価値観で行動することを禁止されること。自由民主主義。個人主義。同調行動の忌避。それらの強制。対人関係の非調和の強制。プライバシーの順守の強制。チャレンジ行動の強制。

社会を取り巻く自然環境に相違がある。男女に能力差がある。そのため、男性優位社会における男性の女性への支配も、女性優位社会における女性の男性への支配も、無くせない。男女差別は、無くせない。男女平等は、世界的に、実現が困難である。世界には、男性優位な社会か、女性優位な社会しか存在出来ない。

そのことへの可能な対処や緩和策は、次の通りである。
（１）男性優位社会における男性の女性への支配。それ

について、女性への社会的補償を行うこと。
（２）女性優位社会における女性の男性への支配。それについて、男性への社会的補償を行うこと。
それらが必要である。

それらの具体例は、次の通りである。
（１）社会的に劣位な性について、社会的優遇や持ち上げを行うこと。
（１－１）男性優位社会において、女性を社会的に優遇し、褒め称え、持ち上げること。
（１－２）女性優位社会において、男性を社会的に優遇し、褒め称え、持ち上げること。

（２）社会的に劣位な性について、彼らの自治領を、その社会で確保すること。
（２－１）男性優位社会において、女性的価値観がそのまま保持されるエリアを確保すること。
（２－２）女性優位社会において、男性的価値観がそのまま保持されるエリアを確保すること。

（初出2020年12月）

性的搾取。性的消費。

性的搾取。性的消費。
それは、身体的搾取と、経済的搾取とに、分類可能である。

（１ー１）男性による、女性への、身体的な性的搾取。
男性は、男性自身が所有する性的欲求のはけ口となることを、女性に対して強制する。男性は、女性に対し

て、性的にしつこく付きまとい、セックスを絶えず要求し、セックスで自分勝手に性的に絶頂した後、女性を邪険に扱う。
（１－２）女性による、男性への、身体的な性的搾取。
（１－２－１）女性は、女性自身が所有する性的欲求のはけ口となることを、男性に対して強制する。女性は、男性に対して、自身の強い性欲を満たすため、前戯とセックスをしつこく要求し、繰り返し性的に絶頂して十分満足するまで、男性を性的にこき扱う。女性は、男性が途中で性的に疲れ果てるなどして、女性自身が性的に満足できないと、男性に対して不機嫌になり、離婚や浮気を考える。そうした男性は、彼女へのご機嫌取りに追われる。
（１－２－２）女性は、女性を護衛することを、男性に対して強制する。男性は、女性の自己保身の実現のために、女性の身代わりになってリスクを背負うことを、女性から一方的に強制される。
（１－２－３）女性は、筋力補助を、男性に対して強制する。男性は、女性の弱い筋力を補助し、男性自身の筋力を増強し、苛酷な肉体労働に従事することを、生活において絶えず強制される。
（２）女性による、男性への、経済的な性的搾取。女性は、男性に対して、自身の女体と女性器を貸し出す代わりに、その見返りとして、男性を企業で強制的に奴隷のように労働させて、その配当を一方的に受け取りつつ、女性自身は楽をして、優雅に暮らして、男性からの配当生活を、一生に渡って謳歌する。特に、女性優位社会において、女性は、家計の財布の紐を一方的に握り、男性にわずかな小遣いを与えて、企業へと強制的に送り出して労働をさせる一方、女性自身は、そうして得られた家計のお金を、自由に好き勝手に消費する。

男性による、女性への身体的搾取。

女性による、男性への経済的搾取。
この図式は、精神障害者の男女における異性交際や、異性との結婚のあり方に、大きな影響を及ぼしている。

精神障害者の女性は、交際相手や結婚相手の男性を持つことに、ほぼ成功している。
精神障害者の女性たちの女体や女性器は、精神病を発病しても、引き続き正常である。精神障害者の女性たちは、男性に対する身体的な性的機能の提供が、問題なく可能である。精神障害者の女性たちは、男性が持つ身体的な性的搾取の欲求を、問題なく満足させる。男性は、そうした精神障害者の女性を交際相手や結婚相手として選ぶことに、問題や不満を特に感じない。男性は、精神障害者の女性を、交際相手や結婚相手に自然に選ぶ。
精神障害者の男性は、交際相手や結婚相手の女性を持つことに、ほぼ失敗している。
精神障害者の男性たちは、精神病の発病によって、経済的に稼ぐ力を失っている。精神障害者の男性たちは、女性に対する経済的な性的機能の提供が、発病によって不可能になっている。精神障害者の男性たちは、女性が持つ、経済的な性的搾取の欲求を満足させることが出来ない。女性は、そうした精神障害者の男性を交際相手や結婚相手として選ぶことに、大きな問題や不満を感じる。女性は、精神障害者の男性を、交際相手や結婚相手には選ぼうとしない。

(初出2020年12月)

社会的性転換。その試み。

社会的性転換。社会そのものの性転換。その試み。それは、以下の通りである。

（１）女性優位社会から男性優位社会への転換の試み。
（１－１）自主的な転換。例。日本社会による「脱亜入欧」の国策の持続。近代から現代の日本社会における、人々の欧米諸国の社会への同化への憧れや願望の強さ。
（１－２）強制的な転換。男性優位社会による、女性優位社会の支配。例。第二次世界大戦の後の日本社会と韓国社会における、アメリカによる軍事的支配の持続と、それへの適応や迎合。それらの社会におけるアメリカへの同化の強制とそれへの隷従。
（２）男性優位社会から女性優位社会への転換の試み。
（２－１）自主的な転換。（筆者は、その実例を、探索中である。）
（２－２）強制的な転換。女性優位社会による、男性優位社会の支配。例。例。第二次世界大戦の後のドイツ社会における、ロシア（ソビエト連邦）による軍事的支配の持続と、それへの適応。東ドイツのロシア（ソビエト連邦）への同化。

以下の文章においては、女性優位社会の社会的性転換へと、内容を絞って説明する。

そうした女性優位社会において、実際になされたこと。女性優位社会を、表向き、男性優位社会に見せること。その社会の女性性の否定。その社会の男性性を主張すること。その社会における女性優位の否定。その社会における男性優位を主張すること。その社会が家父長制であることを主張すること。その社会の上位者による、その方向への言論統制。
（１）その言論統制は、以下の主張や態度の表明を、社会的に許さない。
その社会の女性性の肯定。その社会における女性優位の肯定。その社会における母親の強さの肯定。その社会における父親の弱さの肯定。その社会の人々が、母親への心理的依存を社会的に表明すること。

こうした主張は、社会的に無視され、嘲笑され、忌避される。
（２）その言論統制は、以下の主張や態度の表明のみを許す。
女性優位な男性が、強者の振りをして、威張ること。彼らが、自身を家父長と見なすこと。女性優位な女性が、自身が弱者であり、被害者であることを訴えること。そのために、男性優位社会が起源の、女性の弱さを前提とするフェミニズムを、必死になって学習し、その内容を大声で一斉唱和すること。
こうした主張や態度は、社会的に盛んに推奨される。

その試みの結果。その内容は、冴えないものである。その内容は、茶番に過ぎない。
そうした女性優位社会は、数十年にわたって、社会の性転換の試みを持続的に行った。しかし、そうした女性優位社会は、男性性の本質を理解できず、体得もできないままになっている。
そうした女性優位社会は、表向きは、男性優位である。その社会の人々は、表向きは、個人の人権の重視や、個性の重視や、独創的なチャレンジ精神の重視や、プライバシーの重視を盛んに唱え、自由民主主義を主張する。
しかし、その社会は、いったん中に入ると、以前と変わらず、女性優位のままである。その社会の人々は、社会の調和や、前例の踏襲を、引き続き重視する。その社会の人々は、上位者や古参者や前例保持者に隷従し、下位者や新参者や前例学習者を専制支配する。その社会は、個人の人権が無い。その社会は、団体行動を重視し、個人行動の自由が無い。その社会は、プライバシーが無い。その社会の人々は、失敗を恐れ、独創的なチャレンジ精神を忌避する。その社会は、客観性や科学を軽視し、感情や精神論で動く。
それは、社会的な性転換の能力の欠如である。そうし

た女性優位社会は、社会的な性転換には、いつまで経っても失敗したままである。
しかし、そうした女性優位社会は、社会的性転換の失敗を、認めない。その社会は、そのまま、かたくなに、自身の社会における男性優位を主張し続ける。そうした女性優位社会は、女性の社会的強さを指摘する言論を、それが消滅するように統制し続ける。そうした女性優位社会は、以下の内容の発生を恐れる。男性優位社会の価値観に対して非服従であることが発覚すること。男性優位社会は、そうした女性優位社会にとって、スーパー上位者や支配者や先進的な模範者である。そうした女性優位社会は、そのことを恐れ、それを隠ぺいし続ける。その女性優位社会の人々は、社会的性転換を推進する自国の政府の方針に隷従する。彼らは、その政府方針への異議申し立て者を無視し嘲笑し続ける。
そうした女性優位社会は、以下の内容を恐れる。自身の女性性が暴露されて、周囲の社会がそのことに気付くこと。そうした女性優位社会は、男性性、女性性の研究を否定し、性差研究の進展を邪魔し続ける。

結論。
社会的性転換。その試み。それは上手く行かない。人間は、それに失敗し続ける。

（初出2020年12月）

男性優位社会（欧米諸国）の女性フェミニストたちへの警告。

最初に。あなた方の考え方について。男女の間において、生殖面での身体資本にあれほど根本的に大きな差

があるのに、身体に予め埋め込まれた行動様式において、考え方の差や能力差が全く無いと考えること。それは、とても非常識で頭の悪い考え方です。あなた方は、生物学の基礎を、最初からちゃんと学習し直しなさい。
世界の社会には、あなた方のような男性優位社会と、中国やロシアや東アジアや東南アジアのような女性優位社会の両方があるのです。あなた方のような男性優位社会は、世界標準では、少しもありません。あなた方は、中国やロシアや東アジアや東南アジアのような女性優位社会が、世界において、どんどん優位に立ちつつあることや、新たに世界標準となりつつあることを、もっと理解すべきなのです。
あなた方は、中国やロシアや東アジアや東南アジアのような女性優位社会の内実について、余りにも無知過ぎます。あなた方は、その内実を、そもそも理解できないでしょう。あなた方は、女性のはずなのに。その理由は、あなた方の社会において、お父さんが余りにも強すぎて、あなた方が、永遠に「お父さんの小さな娘」のままでいるからです。あなた方は、お父さんによって、本来あるはずの女性性を、生育過程において、きれいに抹消されているのです。あなた方は、知らず知らずのうちに、すっかり行動様式が男性化しています。あなた方は、それに気付いていない。あなた方は、本当に馬鹿ですね。
あなた方は、女性優位社会の男性と同じくらい駄目な存在です。彼らは、彼らの社会において、お母さんが余りにも強すぎて、永遠に「お母さんの小さな息子」のままでいるからです。彼らは、お母さんによって、本来あるはずの男性性を、生育過程において、きれいに抹消されているのです。彼らは、知らず知らずのうちに、すっかり行動様式が女性化しています。あなた方は、彼らと同じ社会的弱者です。あなた方は、同じ社会的立場の彼らと、もっと連帯しましょう。

あなた方は、女性なのにも関わらず、真の女性性を、全く理解できていません。あなた方は、それを理解する能力が、そもそもありません。あなた方は、無能で、とてもかわいそうです。それなのに、あなた方は、世界中に、あなた方が自分勝手に作り出した出来損ないのフェミニズムを、世界標準として、女性優位社会にまで、強引に広めようとしているのです。例えば、日本や韓国のように、あなた方の社会に軍事的支配を受けている女性優位社会では、それらが女性優位であることを表明する言論の自由が、あなた方の社会の支配のせいで、すっかり統制されています。そこでは、真の女性性を既に身に付けている女性たちが、女性性を根本的に欠いているあなた方の作った不出来なフェミニズムを、奴隷のように強制的に学習させられる羽目になっています。あなた方によるそうした強制。それはとてもごう慢な態度です。それはとても馬鹿げた、恥ずべき行為です。それは、世界的な損失を生み出しています。あなた方は、世界中の女性優位社会の女性たちに、もっと真の女性性を学ぶべきです。あなた方は、あなた方が普段見下し、馬鹿にしている世界中の女性優位社会の女性たちに、心から頭を下げなさい。そして、あなた方は、彼女たちから真の女性性についての教えを乞うべきです。

あなた方は、あなた方の国々が、中国やロシアや東アジアや東南アジアのような女性優位社会の国々に占領されることを、心の底から望みなさい。それが実現することで、あなた方は、初めて、真の女性性を、本格的に体験し学習することができるでしょう。現状、女性優位社会は、あなた方の仮想敵国です。それは、とても皮肉なことです。あなた方は、なぜそうなっているのか、きちんと理由を知るべきです。男性優位社会と女性優位社会とは、互いに対照的な性格を持ち、そのままでは、互いに相容れない、敵対する関係にあるのです。それは、男女の性差に起因しているのです。

男女は、実際のところ、行動様式や価値観の面で、異質で敵対関係にあるのです。でも、そのままでは、男女は、結婚し、子孫を設けることが出来ず、人類は滅んでしまいます。それを回避するために、男女は、互いに、相手をもっと理解し、協力し合わないといけません。その矛盾を、あなた方は、もっと知るべきです。男性優位社会と女性優位社会は、もっと世界的な分業の形で、平和的に協力し合わないといけません。世界について何も知らずに、中国やロシアのような女性優位社会を敵視するあなた方は、今のままでは、精神が幼稚過ぎ、浅はか過ぎます。あなた方には、精神的な成長が、根本的に必要です。あなた方は、強大なお父さんに精神的に依存ばかりしてないで、お父さんから自立し独立して、真の女性性を獲得するための努力を、もっとすべきなのです。そのためにも、あなた方は、中国やロシアや東アジアや東南アジアのような女性優位社会の内実を、もっと真剣に知ろうとすべきです。あなた方は、中国やロシアや東アジアや東南アジアのような女性優位社会に、もっと旅行しましょう。あなた方は、女性優位社会の女性たちと、もっと触れ合いましょう。彼女たちは、真の女性性の内実を、あなた方に対して、喜んで教えてくれるでしょう。

(初出2020年12月)

性嫌悪。その分類。

（１）しらふとセックス没入。その双方のモード切替。

（１－１)人間は、しらふで、セックス没入の他者を見ると、不快である。

（１－２）人間は、セックス没入時、しらふの他者を見

ると不快である。
（２）異性愛者。多数派。男性。女性。両方。
男女は、自分と同じ性の登場人物がいっぱい出てくると、競争相手が増えて、不快であり、不機嫌になる。
（３）異性について楽しむこと。その行動。
（３－１－１）男性。それはオープンである。それは見えやすい。それはあからさま。それは目立つ。それは攻撃されやすい。
（３－１－２）女性。それは内密である。それは機密性が高い。それは目立たない。それは攻撃されにくい。
（３－２）楽しむ行動は、男女とも大好きである。
（４）セックスに対する価値観の違い。女性。
（４－１）貞淑。
彼女は、以下を攻撃する。性的な表現。性的な行為。
彼女は、そうして以下の評価を上げる。彼女自身の性的な攻略しにくさ。それは、彼女の性的価値を上げる。
彼女は、性欲は、普通にとても強い。彼女が奥ゆかしいのは、表向きだけである。
（４－２）セックス大好き。
彼女は、以下の評価を上げる。女体カーストの高さ。
それは、彼女の性的価値を上げる。
（５）望まない性的行為を、望まない他者から、強制されたこと。その経験。その記憶。それへの不快感。
セックス嫌い。痴漢。強姦。性的な付きまとい。それらへの不快感。
（６）相手への性的興味の喪失。
（６－１）セックス相手の家族の一員化。
（６－２）自身の子育てに夢中になる。セックス相手への無関心。

（７）男女。異性愛者。男女は、彼ら自身と同じ性の人物がたくさん登場すると、同性愛の嫌悪のような感情を生じさせ、不機嫌になる。
（８）男女。異性愛者。男女は、彼ら自身と同じ性の人

物が、男体カーストと女体カースト上位で登場すると、性的魅力の面で手ごわいライバルであり、負けたと感じて、不機嫌になる。

（初出2020年12月）

遺伝的な性的不能者。身体面での性的不能者。性差別との関連。

（１）
精子や卵子の受精能力が欠損している男女。
精子や卵子が、加齢によって劣化した男女。更年期を迎えて、精子や卵子の新たな放出が不可能になった男女。
精子や卵子を持たない男女。精子や卵子を失った男女。
腫瘍などでの精巣や卵巣の摘出者。
遺伝子異常の男女。遺伝子に不具合のある男女。

（２）
生殖器官を失った男女。子宮を摘出した女性。ペニスを摘出した男性。その摘出は、腫瘍などが原因でなされた。

（３）
同性愛者の男女。
遺伝とは逆の性別を指向する男女。性転換者の男女。

彼らは、そのままでは正常な遺伝的子孫を残せないため、社会的に軽蔑され、差別される。それは、性に関する差別の一種である。

上記への対処。それは、以下の通りである。

彼らが文化的子孫を残すこと。その社会的奨励。オリジナルな文化財の創作。養子の養育。

（初出2020年12月）

社会的な性的不能者。性差別との関連。

生身の性的対象者に接触しないか、接触できない人。生身の性的対象者以外に主要な関心を持つ人。生身の性的対象者の攻略を実質的にあきらめたか、やらない人。
（１）異性愛者の場合。生身の異性に接触しないか、接触できない人。生身の異性以外に主要な関心を持つ人。生身の異性の攻略を実質的にあきらめたか、やらない人。
（２）同性愛者の場合。生身の同性に接触しないか、接触できない人。生身の同性以外に主要な関心を持つ人。生身の同性の攻略を実質的にあきらめたか、やらない人。

彼らは、男性と女性の両方に存在する。彼らは、性欲自体は有り余るほどあるが、生身の性的対象者と社会的なコンタクトが上手く取れないため、実質的に性的不能である。

その総称。それは、従来、日本では、オタクと呼ばれてきた。

彼らは、以下のように行動する。
（１）生身で無い、代用品の性的対象者。それへの心理的満足。例。ゲーム。アニメ。コミック。そのキャラクター。その立体物。その印刷物。萌え絵の異性。

（２）生身の人間以外の機械や物体やシステム。それへの心理的没入。例。鉄道。地学。コンピューター。
（３）生身の人間との交流を直接目指さない文物や知識やルール。それへの心理的没入。例。スポーツ競技や法律などについての蘊蓄。研究面での豊富な学識。その蓄積自体にはまること。
（４）攻略がほとんど不可能か、困難であることが予め判明している生身の性的対象者。それを遠目で崇拝して満足すること。例。人気アイドルを崇拝すること。

彼らは、そのままでは遺伝的子孫を残せないため、社会的に軽蔑され、差別される。それは、性に関する差別の一種である。

若い男女は、社会の経済的環境が悪化すると、経済的に苦しくなり、将来の子育てに必要な経済的基盤を持てなくなる。すると、彼らは、例え、生身の性的対象者と社会的なコンタクトを取る能力があっても、生身の人間との恋愛や結婚を諦めて、上記の行動に走る。彼らは、そうして、社会的な性的不能者として振る舞うようになる。

上記への対処。それは、以下の通りである。
（１）彼らのような男女に、性交渉の機会を与えること。それを社会的に手助けすること。
（２）彼らのような男女の経済的基盤を高く安定させること。
（３）彼らのような男女が文化的子孫を残すこと。その社会的奨励。オリジナルな文化財の創作。養子の養育。

（初出2020年12月）

性交渉。男性による処女への信仰。女性によるベテラン男性への信仰。性差別との関連。

異性との交際や結婚について。
（１）男性は、性体験が初めての女性を、より好む。性体験の回数や人数が豊富な女性は、男性にとって、忌避の対象となる。それは、性に関する差別の一種である。
既に性体験がある女性は、既に他の男性の子供を妊娠している可能性がある。その判定は、女性にのみ可能であり、男性は、そのままでは、それに関する情報を持つことが身体的に不可能なため、その判定が不可能である。誰か他の男性の子供を育てる羽目になる可能性を、男性は嫌う。男性は、自身の遺伝的子孫を残したい。男性にとっては、自身の遺伝的子孫を残せないと、結婚しても意味が無い。遺伝的子孫の養育において、他の男性から、勝手に遺伝子の側面で、ただ乗りされること。それは、男性にとって、自身の一回限りの貴重な人生の喪失につながり、とても望ましくないことである。それゆえ、男性は、今まで性交渉の無い女性を選びたがる。性交渉が無い証拠。それは、処女膜の存在である。
（２）女性は、性体験の人数や回数が豊富な男性を、より好む。性体験の回数や人数が少なかったり、性体験がそもそも皆無な男性は、女性にとって、忌避の対象となる。それは、性に関する差別の一種である。
性体験に慣れている男性や、性交渉の経験が豊富な男性は、女性にとって、性体験における前例やノウハウの所持者である。女性は、そうした男性とは、より安心して、セックスを行える。女性は、安全性の確保される前例を重んじる人々である。女性は、前例や経験を持たない相手に、自身の身体の大事な秘部を任せるこ

とに、大きな抵抗感がある。それゆえ、女性は、性交渉の経験豊富なベテラン男性を、自身の性交渉の相手として選ぶ。それは、手術などの医療行為において、経験豊富なベテランの医師が、経験の浅い医師よりも好まれることと、理屈は同じである。

（初出2020年12月）

モテる度合いの大小。結婚の有無。自身の子孫の有無。自身の子孫の生存能力や生存度の大小。性差別との関連。

人間社会において。
（１）恋愛や性交渉でモテる男性や女性は、モテない男性や女性よりも、社会的に上位者とされる。モテる者は、モテない者に対して、平然と差別を行い、優位者として振る舞う。
（２）結婚している男性や女性は、結婚していなかったり、離婚した男性や女性よりも、社会的に上位者とされる。既婚者は、未婚者や離婚者に対して、平然と差別を行い、優位者として振る舞う。
（３）自身の子孫を持つ男性や女性は、それを持っていなかったり、それを失った男性や女性よりも、社会的に上位者とされる。自身の子孫を持つ者は、持たざる者に対して、平然と差別を行い、優位者として振る舞う。
（４）自身の子孫の生存能力が高い男性や女性は、それが低い男性や女性よりも、社会的に上位者とされる。自身の子孫が有能な者は、無能な者に対して、平然と差別を行い、優位者として振る舞う。
（５）自身の子孫の生存基盤が高く安定している男性や

女性は、それが低く不安定な男性や女性よりも、社会的に上位者とされる。自身の子孫の養育環境が裕福な者は、それが貧しい者に対して、平然と差別を行い、優位者として振る舞う。
（６）自身の子孫の生存度が高い男性や女性は、それが低い男性や女性よりも、社会的に上位者とされる。自身の子孫がたくさん生存している者は、そうでない者に対して、平然と差別を行い、優位者として振る舞う。

子孫は、遺伝的子孫と、文化的子孫とに分類される。
上記は、全て、性に関する差別として捉えられる。

（初出2020年12月）

萌えアニメ、ゲーム、コミックと性差別。

（１）萌えアニメ、ゲーム、コミック。性的魅力が強調された、仮の性的対象に相当するキャラクターが主に登場するアニメ、ゲーム、コミック。生身の性的対象と恋愛や交際ができていない未婚者。自身の遺伝的子孫を、そのままでは残せない社会的劣位者。社会的な性的不能者。そうした男女。彼らが視聴するアニメ、ゲーム、コミック。その視聴者は、社会的に格下扱いか異常扱いされ、馬鹿にされ、疎外される。
（２）通常アニメ、ゲーム、コミック。性的魅力が特に強調されないキャラクターが主に登場するアニメ、ゲーム、コミック。生身の性的対象と恋愛や交際をしている未婚者。生身の性的対象との既婚者。自身の遺伝的子孫を生成済みか生成予定の社会的優位者。そうした男女。彼らが視聴するアニメ、ゲーム、コミック。その視聴者は、社会的に格上扱いか普通扱いされ、尊敬さ

れ、受容される。

（初出2020年12月）

遺伝的子孫を後世に残す戦略と、その性差。性差別との関連。

（１）男性の場合。
男性は、男性自身の遺伝的子孫を広範囲で非限定的に残すため、強い性的魅力や正常な生殖機能を持つ身体を持つ広範囲の女性と恋愛やセックスを行う。男性は、女性とのセックスは、やり捨てをして、女性から結婚の要請が無い限りは、フリーであることを好む。
一方、男性は、男性自身の遺伝的子孫を確実に後世に残すには、その育成に当たって男性自身の経済的サポートがかなり必要であると考える。男性は、女性やその遺伝的子孫に経済的サポートをする際は、女性の遺伝的子孫と男性自身の遺伝子を共有することが必須条件であると考える。男性は、男性自身と遺伝子を共有しない女性の子供の養成を、極力、経済的にサポートしたくない。男性は、女性の浮気と、それがもたらす他の男性による育児面での経済的なただ乗りを、根本的に嫌う。

（２）女性の場合。
女性は、女性自身の限定された数の遺伝的子孫を、後世に確実に残そうとする。女性は、女性自身の遺伝的子孫を、そのことを能力的に確実にするハイスペックの男性との間で残すため、相手の男性の能力やスペックを厳しく選別する。女性は、低スペックの男性を、根本的に嫌う。
ただし、女性は、彼女自身の遺伝的子孫を育てて残す上

で必要な経済的なサポートを提供する男性は、別に遺伝的子孫の遺伝子を共有する相手男性である必要は特に無く、経済的にサポートしてくれるなら別に誰でも良くフリーであるか、それが複数の男性でも、あるいは社会全体でも良いと考える。
一方、女性は、彼女自身に対して経済的にサポートしてくれそうな男性が他にいない場合は、女性自身の遺伝的子孫と遺伝子を共有する予定の男性と結婚して、彼からそうした経済的サポートを、生涯にわたって正式に受けようとする。そうした女性は、男性の浮気を、根本的に嫌う。

そこでは、以下のことが考えられる。
（１）広範囲の女性との間で、やり捨ての恋愛やセックスを好む男性。
（２）自身の子供の育成の経済的サポートを行う男性を、誰でも良いと考えるか、社会全体の広範囲に求める女性。
上記の二者は、相性が良い。彼らは、共に、セックスの相手に関してフリーであることを望む。彼らは、人間社会において、広く、多数分布する。彼らは、異性とのセックスを盛んに行える生殖面での優位者として、社会的に迷惑な面が多いにも関わらず、社会的に平然と大きな顔をして威張っている。

上記の彼らのせいで、遺伝的子孫を後世に残す戦略上、犠牲となるのは、以下の人々である。彼らは、社会的に馬鹿にされ、一方的な憐れみの対象となる。
（１）それは、女性と遺伝的子孫を共有せず、なおかつ女性とその子供に対して経済的サポートをする羽目になる男性である。
（１－１）それは、例えば、低スペックで経済力が無いため、あるいは性的に不能であるため、女性に相手にされず未婚のまま、社会的な税金を沢山支払って、

自身と遺伝子を共有しない女性の子供ばかりを経済的にサポートする羽目になる男性である。
（１－２）それは、例えば、結婚相手の女性に浮気をされて、女性と遺伝的子孫を共有しないまま、なおかつ女性とその浮気相手の男性との子供に対して経済的サポートをする羽目になる男性である。
（２）それは、男性と遺伝的子孫を共有せず、なおかつ他の男性と女性とその子供に対して経済的サポートをする羽目になる女性である。
（２－１）それは、例えば、性的魅力が無いため、男性に相手にされず未婚のまま、社会的な税金を沢山支払って、自身と遺伝子を共有しない男性と女性の子供ばかりを経済的にサポートする羽目になる、経済力のある女性である。それは、結婚しないまま企業で働き続けるハイスペックの女性である。女性の場合、性的魅力と経済力とは、たいてい無関係である。

(初出2020年12月)

私の書籍についての関連情報。

私が執筆した全ての書籍。その一覧。

Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Sex Differences And Female Dominance
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 性别差异和女性主导地位
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Половые различия и женское превосходство
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 男女の性差と女性の優位性

Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Female-Dominated Society Will Rule The World.
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 女性主导的社会将统治世界
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Общество, в котором доминируют женщины, будет править миром.
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 女性優位社会が、世界を支配する。

Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Mobile Life. Settled Life. The origins of social sex differences.
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 移动生活。定居生活。社会性别差异的起源。
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Мобильная жизнь. Урегулированная жизнь. Истоки социальных различий по

половому признаку.
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 移動生活。定住生活。社会的性差の起源。

Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Life Is Dark. Human Beings Are Dark.
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 生命是黑暗的。人类是黑暗的。
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) Жизнь темна. Человеческие существа темны.
Iwao Otsuka (Aug 12, 2020) 生命は暗黒である。人間は暗黒である。

Iwao Otsuka (Aug 21, 2020) On Atheism and the Salvation of the Soul. Live by neuroscience!
Iwao Otsuka (Aug 21, 2020) 论无神论与灵魂的救赎。靠神经科学生存！
Iwao Otsuka (Aug 21, 2020) Об атеизме и спасении души. Живи неврологией!
Iwao Otsuka (Aug 21, 2020) 無神論と魂の救済について。脳神経科学で生きよう！

Iwao Otsuka (Aug 24, 2020) Dryness. Wetness. Sensation of humidity. Perception of humidity. Personality Humidity. Social Humidity.
Iwao Otsuka (Aug 24, 2020) 干性。湿气。湿度的感觉。对湿度的感知。性格湿度。社会湿度。
Iwao Otsuka (Aug 24, 2020) Сухость. Мокрота. Сенсация влажности. Восприятие влажности. Личностная влажность. Социальная влажность.
Iwao Otsuka (Aug 24, 2020) ドライさ。ウェットさ。湿度

の感覚。湿度の知覚。性格の湿度。社会の湿度。

Iwao Otsuka (Aug 26, 2020) Gases and liquids. Classification of behavior and society. Applications to life and humans.
Iwao Otsuka (Aug 26, 2020) 气体和液体。行为与社会的分类。在生活和人类中的应用。
Iwao Otsuka (Aug 26, 2020) Газы и жидкости. Классификация поведения и общества. Применение к жизни и человеку.
Iwao Otsuka (Aug 26, 2020) 気体と液体。行動や社会の分類。生命や人間への応用。

Iwao Otsuka (Sep 3, 2020) Elements of livability. Functionalism of life. Society as life.
Iwao Otsuka (Sep 3, 2020) 宜居的要素。生活的功能主义。社会即生活。
Iwao Otsuka (Sep 3, 2020) Элементы благоустроенности. Функциональность жизни. Общество как жизнь.
Iwao Otsuka (Sep 3, 2020) 生きやすさの素。生命の機能主義。生命としての社会。

Iwao Otsuka (Sep 4, 2020) The laws of history. History as a system. History for life.
Iwao Otsuka (Sep 4, 2020) 历史的规律。历史是一个系统。历史的生命。
Iwao Otsuka (Sep 4, 2020) Законы истории. История как система. История на всю жизнь.
Iwao Otsuka (Sep 4, 2020) 歴史の法則。システムとしての歴史。生命にとっての歴史。

Iwao Otsuka (Sep 21, 2020) Social Theory of Maternal Authority. A Society of Strong Mothers. Japanese Society as a Case Study.
Iwao Otsuka (Sep 20, 2020) 母亲权威的社会理论。强势母亲的社会。以日本社会为个案研究。
Iwao Otsuka (Sep 20, 2020) Социальная теория материнства: Общество сильных матерей. Японское общество как пример.
Iwao Otsuka (Sep 15, 2020) 母権社会論－強い母の社会。事例としての日本社会。－

Iwao Otsuka (Sep 21, 2020) Mechanisms of Japanese society. A society of acquired settled groups.
Iwao Otsuka (Sep 21, 2020) 日本社会的机制。后天定居群体的社会。
Iwao Otsuka (Sep 21, 2020) Механизмы японского общества. Общество приобретенных оседлых групп.
Iwao Otsuka (Aug 28, 2020) 日本社会のメカニズム。後天的定住集団の社会。

Iwao Otsuka (Oct 25, 2020) Inertial Society
Iwao Otsuka (Oct 25, 2020) 惯性社会（中文版本）
Iwao Otsuka (Oct 25, 2020) инерционное общество
Iwao Otsuka (Oct 25, 2020) 慣性社会（日本語版）

Iwao Otsuka (Oct 27, 2020) Neurosociology
Iwao Otsuka (Oct 27, 2020) 神经社会学（中文版本）
Iwao Otsuka (Oct 27, 2020) Нейросоциология
Iwao Otsuka (Oct 27, 2020) 神経社会学（日本語版）

Iwao Otsuka (Oct 29, 2020) From transportation-centric society to communication-centric society. The Progress of Transition.
Iwao Otsuka (Oct 29, 2020) 从以交通为中心的社会向以通信为中心的社会。转型的进展。
Iwao Otsuka (Oct 29, 2020) От общества, ориентированного на транспорт, к обществу, ориентированному на коммуникации. Прогресс переходного периода.
Iwao Otsuka (Oct 29, 2020) 交通中心社会から通信中心社会へ。移行の進展。

Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) The Sociology of the Individual - The Elemental Reduction Approach.
Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) 个人社会学 -元素还原法。
Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) Социология личности -Элементный подход к сокращению.
Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) 個人の見える社会学　－要素還元アプローチ－

Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) Introduction Of A White Tax To Counter Discrimination Against Blacks.
Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) 引入白人税以打击对黑人的歧视
Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) Введение белого налога для противодействия дискриминации черных
Iwao Otsuka (Nov 9, 2020) 黒人差別対策としての白人税導入

Iwao Otsuka (Nov 20, 2020) Personality and sensation, perception. Light and dark. Warm and cold. Hard and soft. Loose and tight. Tense and relaxed.
Iwao Otsuka (Nov 20, 2020) 人格与感觉、知觉。明与暗。

温暖与寒冷。硬和软。松与紧。紧张与放松。
Iwao Otsuka (Nov 20, 2020) Личность и ощущения, восприятие. Светлое и темное. Тепло и холодно. Твердый и мягкий. Свободный и тугой. Напряженный и расслабленный.
Iwao Otsuka (Nov 20, 2020) 性格と感覚、知覚。明暗。温冷。硬軟。緩さときつさ。緊張とリラックス。

Iwao Otsuka (Nov 21, 2020) Motherhood and Fatherhood. Maternal and paternal authority. Parents and Power.
Iwao Otsuka (Nov 21, 2020) 母性与父性。母权和父权。父母与权力。
Iwao Otsuka (Nov 21, 2020) Материнство и отцовство. Материнская и отцовская власть. Родители и власть.
Iwao Otsuka (Nov 22, 2020) 母性と父性。母権と父権。親と権力。

Iwao Otsuka (Dec 15, 2020) Sex differences and sex discrimination. They cannot be eliminated. Social mitigation and compensation for them.
Iwao Otsuka (Dec 15, 2020) 性别差异和性别歧视。它们无法消除。对它们进行社会缓解和补偿。
Iwao Otsuka (Dec 15, 2020) Половые различия и дискриминация по половому признаку. Они не могут быть устранены. Социальное смягчение и компенсация за них.
Iwao Otsuka (Dec 15, 2020) 男女の性差と性差別。それらは無くせない。それらへの社会的な緩和や補償。

Iwao Otsuka (Dec 18, 2020) Mechanisms of acquired settled group societies. Female dominance.
Iwao Otsuka (Dec 18, 2020) 后天定居群体社会的机制。女性主导地位。

Iwao Otsuka (Dec 18, 2020) Механизмы обществ приобретенных оседлых групп. Доминирование женщин.
Iwao Otsuka (Dec 18, 2020) 後天的定住集団社会のメカニズム。女性の優位性。

Iwao Otsuka (Dec 24, 2020) Ownership and non-ownership of resources. Their advantages and disadvantages.
Iwao Otsuka (Dec 24, 2020) 资源的所有权和非所有权。其利弊。
Iwao Otsuka (Dec 24, 2020) Владение и не владение ресурсами. Их преимущества и недостатки.
Iwao Otsuka (Dec 24, 2020) 資源の所有と非所有。その利点と欠点。

Iwao Otsuka (Jan 3, 2021) Wealth and poverty. The emergence of economic disparity. Causes and solutions.
Iwao Otsuka (Jan 3, 2021) 财富与贫穷。经济差距的出现。原因和解决办法。
Iwao Otsuka (Jan 3, 2021) Благополучие и бедность. Появление экономического неравенства. Причины и решения.
Iwao Otsuka (Jan 3, 2021) 富裕と貧困。経済的格差の発生。その原因と解消法。

Iwao Otsuka (Jan 4, 2021) Social delinquents. A true delinquent. The difference between the two.
Iwao Otsuka (Jan 4, 2021) 社会不良分子。真正的不良分子。两者之间的区别。
Iwao Otsuka (Jan 4, 2021) Социальные преступники. Настоящий преступник. Разница между ними.
Iwao Otsuka (Jan 4, 2021) 社会的な不良者。真の不良者。

両者の違い。

Iwao Otsuka (Jan 8, 2021) How to enjoy game music videos.
Iwao Otsuka (Jan 8, 2021) 如何欣赏游戏音乐视频。
Iwao Otsuka (Jan 8, 2021) Как наслаждаться игровыми музыкальными клипами.
Iwao Otsuka (Jan 8, 2021) ゲーム音楽動画の楽しみ方。

Iwao Otsuka (Jan 17, 2021) Life worth living. Fulfilling life. The source of them.
Iwao Otsuka (Jan 17, 2021) 值得生活的生活。充实的生活。他们的源头。
Iwao Otsuka (Jan 17, 2021) Жизнь, достойная жизни. Полноценная жизнь. Источник их.
Iwao Otsuka (Jan 17, 2021) 生きがい。充実した人生。それらの源。

私の書籍の内容。それらの自動翻訳のプロセスについて。

ご訪問ありがとうございます！

私は本の内容を頻繁に改訂しています。
そのため、読者の皆様には、随時サイトを訪れていただき、新刊や改訂版の書籍をダウンロードしていただくことをお勧めしています。

自動翻訳には以下のサービスを利用しています。

DeepL プロ
https://www.deepl.com/translator

本サービスは以下の会社が提供しています。

DeepL GmbH

私の本の原語は日本語です。
私の本の自動翻訳の順序は以下の通りです。
日本語→英語→中国語、ロシア語

どうぞお楽しみ下さい！

Table of Contents